

科目コード／科目名 (Course Code / Course Title)	BX124／経済統計学2 (Economic Statistics 2)		
テーマ／サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	体系的な加工統計と経済効果の分析		
担当者名 (Instructor)	櫻本 健(SAKURAMOTO TAKESHI)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	ECX3310	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)			

授業の目標 (Course Objectives)

主要な経済分野の体系に沿った、解釈に無理のない統計分析を学ぶことができる。経済分析において基礎的な分析力に加えて応用力を身に付ける。

Students can learn statistical analysis for coming to reasonable conclusions in accordance with the systems of the major economic fields. In addition to gaining fundamental analytical ability, they will acquire the ability to apply it to economic analysis.

授業の内容 (Course Contents)

公的統計の内側に国民経済計算を中心とした体系が位置付けられており、同体系全体を見ていくことができれば、マクロ統計全体の設計を鳥瞰することができる。国民経済計算の設計とその周辺の統計整備を通じて、マクロ経済指標の発展を学ぶ。授業後半は生産性指標、グローバリゼーションに関する統計指標、経済効果を求める統計と手法といった内容をまとめて取り上げる。

The system that focuses on National Accounts is positioned as being inside of Official Statistics, and if an overall view of this system is possible, it will be possible to design comprehensive macro statistics with a bird's eye view. Learn through national economic calculation design and the peripheral statistical preparation how macroeconomic indicators developed.

授業計画 (Course Schedule)

1. 国民経済計算体系の成立～ケインズからストーンへ
2. GDP の成り立ち、GDP 推計法
3. GDP と三面測度の構成経済循環、フローとストック
4. SNA で構成される勘定、マクロの主要指標の調べ方
5. 成長の要因分解(需要側)、ソロー残差に基づく成長の要因分解
6. 価格に基づく指数理論と実質化
7. 物価と実質化の応用、OECD データによる GDP 国際比較(為替レート及び PPP)
8. 金融統計、経済予測の展開
9. GDP に代わる豊かさの指標(生産性統計、人間開発指標、幸福度)
10. e-Stat、RESAS による地域経済の比較
11. 国際収支統計(BOP)、付加価値貿易指標(TIVA)
12. 供給使用・投入産出(産業連関)体系
13. 経済波及効果分析、CO2 排出量の推計
14. 授業のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習 (Study Required Outside of Class)

授業時は概念の説明とPCによる演習を行う。授業での内容を理解して概念を実際に計算して説明できることが求められる。

成績評価方法・基準 (Evaluation)

筆記試験(Written Exam)(60%) / 授業内提出物(授業内レポート、授業内テスト、授業内演習課題含む)(40%)
平常点は授業内提出物(授業内レポート、授業内テスト、授業内演習課題含む)

テキスト (Textbooks)

1. 李潔、2018、『入門 GDP 統計と経済波及効果分析』、大学教育出版 (ISBN:4864295360)
- 授業の主な部分はテキストに基づく。テキスト以外必要な資料・データは、授業時に配布する。

参考文献 (Readings)

1. 作間逸雄、2002、『SNA が分かる経済統計学』、有斐閣 (ISBN:464112194X)
2. ダイアン・コイル、2015、『GDP——小さくて大きな数字』の歴史』、みすず書房 (ISBN:4622079119)
3. 宮川努、2018、『生産性とは何か—日本経済の活力を問いなおす』、ちくま新書 (ISBN:9784480071897)

社会情報教育研究センターのコンテンツも一部で利用する。

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

本授業は統計検定の統計調査士の試験範囲と一部重なるため、授業を受けつつ、ついでに資格取得を目指すことをお勧めする。設備や環境に左右されることから、授業内容に多少の変更があり得る。この数年授業を受講して、大学院、データサイエンス系企業の研究員といった専門性が高い仕事に就く受講者が増えてきているため、それに対応して高度な知識を平易に学ぶ機会としたい。

注意事項(Notice)